



新大分土地 代表取締役社長

阿南 勝啓氏

- ①「坂の上の雲」(司馬遼太郎)
- ②YAZAWAを聴いて♪パワーを充電
- ③大分市の府内城址とアートプラザ周辺

人を輝かせ街を楽しく輝かせる

「まちはひとでできている」を信条に、「貸しビル」一筋で実績を重ねてきた新大分土地。大分市中心部を拠点に、近年はリノベーションによる空きビルの再生事業にも注力している。阿南社長は「ビルの価値をつくるのは、その場を使う入居者や集まる人々。人が輝けば街も楽しくなる。空きビルにもできることがあるんです」と熱く語る。

県立美術館や大分駅ビルの開業で活性化が期待される県都中心部。人口減少社会で空きビルの増加が全国的に進む中、同社はリノベーションしたビルに次々と魅力的なテナントを誘致し、街ににぎわいを生み出している。好例は同市都町の「slow dining」やガレリア竹町の「wazawa」で、築50年近いビルながら、カフェ

やアート系雑貨など、個性の光る店舗で満室。路地や樹木がセンス良く店舗空間に取り込まれており、人の往来が絶えない。「shintochi」の愛称で、入居している店舗の情報をホームページやフェイスブックで発信し、店の情報だけでなく店主の「思い」や人柄に加えて街の情報を伝えている。「ビルを売るのではな



エンターテインメント性ある入居者募集を展開

く、入居者やエリアの可能性を売っていく」
 昨年は「使われてこそ価値が出る」と、空き店舗だった同市中央通りに面する自社ビル1階のシャッターを開け、使用を希望する人に開放。ギャラリート発表会など、30を超える多彩なイベントで利用され、新たなテナントの入居にもつながった。

「人が集まるということは地域を知ってもらうことになる。特定の施設だけでなく、街への需要をもっと増やすことが必要。古いビルでもできるということ、大分でもできるということを若い人たちに感じてほしい。不動産業が人の流れを変え、まちづくりに貢献できる仕事だということも伝えたい」
 「入居者の繁盛なくしてビルの繁栄なし。入居者の輝きが地域の価値を創り、街を輝かせていく。大分をもっとワクワク、楽しい場所にして。創立78周年。湧き続ける地元愛が街を盛り上げる。」



新大分土地株式会社
 大分市中央町1-5-25新大分ビル4階
 TEL(097)534-3371

<http://www.shinoita.com>